

45 ひらつかの風

No. 45号
2025年7月号
(令和7年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。



CONTENTS

- P.1センター情報 ひらつか市民活動センターまつり開催日決定!!
- P.2団体レポート 『金田の寺子屋』
- P.3センターレポート
- P.4センター情報・平塚市情報

団体
レポート

～子どもの居場所・学習支援～ 『金田の寺子屋』



センター情報

ひらつか市民活動センターまつり開催日決定!!

日時 ● 11月23日(日) 10:00～15:00

6月13日(金)第1回センターまつり実行委員会を発足し、上記日程で開催することが決まりました。登録団体の皆様の出展のお申込みをお待ちしております。

※尚、11月は市民活動推進月間として、市民活動に関する情報発信をより強化していきます。

● ひらつか市民活動センターのホームページをご活用
ください!!



センターから発信する様々な報告・情報を
右記の二次元コードから見られます。



センター情報



助成金情報



団体イベント情報



センター開催報告

団体
レポート

～子どもの居場所・学習支援～
『金田の寺子屋』



地域内のつながりの希薄化や少子化といった社会の変化に伴い、平塚市内でも各地で様々な「居場所」が作られています。今回は金田地区で地域の子どもたちの第3の居場所として学習支援を行う『金田の寺子屋』代表の井上さん、事務局の山西さんにお話を伺いました。



▲山西さんと井上さん

■寺子屋開設に至るまで

井上さんと山西さんは、民生委員児童委員として長年地域に携わってこられました。コロナ禍を経て子どもたちの親密度が低くなり「子どもたちの声が聞こえない」と思ったことが団体立ち上げのきっかけになったそうです。「放課後に子どもたちが集まる場所が少なく、どう過ごしているのか気になっていた。」と山西さんは話します。学校と家以外にも安心して集える第3の居場所が必要ではないかと、井上さんは地区社会福祉協議会や民生委員児童委員のメンバーに声をかけ、2022年2月から地域の子どもたちのための居場所作りに向けて準備を始めました。

活動を始めるにあたり、市内各地で展開されている学習支援や子ども食堂の現場を訪問する他、団体の立ち上げ方や学習支援の方法などを調べ、マニュアルを作成しました。居場所の立ち上げについて、自治会や地区社協、小学校も協力的で、当時の金田小の校長先生は退職後の今でもボランティアとして関わって下さっているそうです。その後も議論を重ね、7月26日に「金田の寺子屋」が開所しました。まさに地域のつながりから始まった活動です。当初は生徒が集まるか不安でしたが、予想を超える申込数に驚いたそうです。活動を通し、「色々な子が来られる、来て楽しい、皆で触れ合える寺子屋にしていきたい」と井上さんは話していました。

■笑顔あふれる寺子屋

取材に伺った日は、小学1年生～中学3年生が40名ほど集まっており、公民館の会議室や和室など4部屋を使って学校の宿題や、学習ドリル、プリントに取り組んでいました。また、ボランティアは学生・社会人からシニアまで幅広く参加していました。子どもたちもボランティアとの会話を楽しみながら学習し、どの部屋も活気に満ちていました。

寺子屋では学年によって勉強時間を決め、残りの時間は自由に過ごすことができます。絵や文章の好きな子はアドバイスをもらいながら自作の冊子を作っていました。ボランティアの男性は「勉強の合間に好きなことを楽しむ時間があってもいい。子どもたちの『将来の芽』を摘まないことが大切」と話していました。



▲ボランティアの方々と楽しみながら学習しています

■居場所・学びの場として

金田の寺子屋は今年の7月で立ち上げから3年が経ちます。口コミで徐々に参加者は増え、現在子ども約60名、ボランティアは20名を超えました。ゆくゆくは寺子屋を卒業していった子どもたちがボランティアとして戻ってきてくれたら嬉しいと話していました。今後の課題は苦手科目の手助けができるよう、ボランティアの学習支援力の強化だそうです。

“居場所”として、子どもたちが安心して過ごせる場所にしたい。“学習支援の場”として苦手を克服できる喜びや楽しさが得られるようにしたい。居場所と学習支援の両立の難しさはあるものの、井上さんの想いは立ち上げの頃から変わっておらず「いろいろな人と関わり、自分の生き方を自分で選べる人に成長してほしい」とのことでした。

■終わりに

寺子屋は子どもたちの居場所だけでなく、ボランティアとして関わる大人たちの生きがいの場にもなっているそうです。居場所と学習支援の場のバランスが取れているからこそ、居心地がよく、人が集まってくるのだと思います。地域の温かみを感じられる活動でした。

●「金田の寺子屋」は毎月第2・第4火曜日、17:00～18:30に金田公民館で行われています。

お問合せ
kodomokaneda55@gmail.com

センター
レポート

第19回

ひらつか市民活動センターまつり実行委員会が発足しました!

6月13日(金)、13団体13名で実行委員会が発足しました。実行委員長にはボーイスカウト平塚市連絡協議会の久保田浩巳さん、副実行委員長にはNPO法人フラワーセラピー研究会の谷淵真実さんが出選されました。11月の市民活動推進月間やセンターまつりに向けて準備を進めてまいります。実行委員会開催の様子は、センターWebサイト等で発信いたしますのでご覧ください!

実行委員の紹介(団体名のみ・五十音順・敬称略) 13団体 13名

- 医療生協かながわ ● 神奈川県傾聴赤十字奉仕団 ● (公社)神奈川県社会福祉士会 湘南西支部 ● 湘南いきいきリンパの会
- NPO法人 湘南NPOサポートセンター ● 湘南平塚断酒新生会 ● ナルク横浜 湘南ブロック ● ひらつかウエルネスクラブ
- NPO法人平塚のら猫を減らす会 ● ひらつか防災まちづくりの会 ● NPO法人 フラワーセラピー研究会
- ボーイスカウト平塚市連絡協議会 ● 楽しく吹き矢 湘南なぎさ

何かやりたい人が話す場とつながりの場『どまのまど』

「何かやりたい」「まちづくりに興味関心がある」人が平塚にはたくさんいます! そんな人達が集まって思いの丈を語り、参加した人達が面白くなって広げていく。場を作り、人を繋ぎ、実現していくためのセンター新企画が今春よりスタートしました。初開催の「どまのまど」、土間の窓から覗いてみました。



日時 ● 5月27日(火) 18:00 ~ 19:00

場所 ● ひらつか市民活動センター ミーティングスペース 参加者 ● 11名

▲「どまのまど」のロゴ

「どまのまど」初回の皐月の会は、語り部にニュードコットンの柳祐輔さんをお迎えしました。柳さんは日本にコットンの産業を新しく作る民間のプロジェクト“ニュード”を2023年に立ち上げました。綿花を有機栽培し、繊維から糸を紡いでそれを織った生地で作る、その全てを平塚市内で完結する。地元平塚での産業創出と定着に向けて少しずつ歩みを進めていくニュードのコットン産業ビジョンと、“目的は大義、手段は楽しみ”としてプロジェクトを面白くして一緒にワクワクできる仲間を増やしたい、柳さんのその思いをレポートします!

■すべてのきっかけは花菜ガーデン!?

柳さんがコットンに興味を持ったのは、花菜ガーデンに遊びに行った際に綿花の種をもらったこと。綿花が100%輸入されていると知りました。そこから地元平塚で綿花を栽培し、ニュードのTシャツ企画製造・クラウドファンディング・販売と2~3年で一気にプロジェクトと進めてきた柳さん。そのひらめきと瞬発力と行動力の源は何なのか? どまのまどの語り部タイム「土間のだ真ん中」で語ってくれたのは、“子どもたちの「自分にも、何かできるかもしれない」と思う力【自己効力感】が育つかもしいない”という思いでした。大人がワクワク楽しみながら取り組む姿を見せ、“こどもたち、日本の未来はおもしろいぞ”というメッセージを送り続けることが、ニュードのパワーとなっています。



■皆でわちゃわちゃできる場所、センターの土間へようこそ♪

土間のだ真ん中後に実施した「^{わちゃわちゃ}輪茶和茶タイム」では、柳さんを囲んで参加者の自己紹介からスタートし、自由に話を進めていきました。キャラクター豊かな方々が集まってくださり、次回以降の語り部候補が集結しているかのよう。30分間の輪茶和茶タイムがあっという間に過ぎていきました。



終了後も会場は参加者のお話が尽きない様子。それぞれに名刺を交換したり、知り合いを紹介したりと、繋がる場としてセンターの土間が賑わいました。

どまのまど皐月の会の語り部を担当してくださった柳さん、お越しくくださった皆様、ありがとうございました!

- どまのまどは奇数月の最終週に開催予定、語り部は随時募集しております。
- 次回は7月29日(火) 18:00 ~ に決定いたしました! 語り部は伊勢兼商店の杉山勇人さんです。
- 詳細はセンターHP・Facebook、チラシや平塚市公式LINEでお知らせします。
- どうぞセンターの土間へお気軽にお越しください♪

こちら
も
ご
覧
く
だ
さい

- ニュード HP ◆ <https://nyudo.co.jp>
- ニュードコットン Instagram ◆ <https://www.instagram.com/nyudo.cotton/>
- 伊勢兼商店 HP ◆ <https://isekane1830.com/>
- 伊勢兼商店 Instagram ◆ https://www.instagram.com/isekane_odawara/



センター情報

● 団体活動にお役立てください!

何かやりたい人が話す場とつながりの場 「どまのまど～文月の会～」

今春よりスタートした新企画、第2回目の開催日が決定いたしました!
 今回は小田原の老舗かまぼこ店、伊勢兼商店の杉山勇人さんをお迎えします。楽しみながら多くの人を巻き込む取り組みや広報は、市民活動団体の活動のヒントに繋がるはず。皆様どうぞお越しください♪

日時 ● 7月29日(火) 18:00～19:30
 場所 ● ひらつか市民活動センター ミーティングスペース
 語り部 ● 伊勢兼商店 杉山 勇人さん 参加費 ● 無料 定員 ● 20名



防災座談会 vol.5

毎年実施している防災座談会。今回は平塚市で進めている災害対策の取り組みと現状について伺うとともに、昨年実施した団体アンケート結果をもとに、防災連携の仕組みづくりについて団体の皆さんと共に考えていきたいと思います。

日時 ● 9月20日(土) 14:00～16:30
 場所 ● ひらつか市民活動センター 定員 ● 40名(参加無料)



平塚市情報

● 「平塚市市民活動推進補助金審査会 活動報告会」を開催しました

5月10日(土)午後2時からひらつか市民活動センターで令和6年度活動報告会を一般公開にて開催しました。令和8年度の平塚市市民活動推進補助金は今年12月頃に募集する予定です。応募等のお問い合わせは平塚市協働推進課までご連絡ください。



入門コース

- ①『湘南ひらつかの森で癒し・触れ合い・繋がる ざる菊園の運営事業』…… 仲間で作るざる菊園
- ②『野球を通して生き生きとした人生を!』…… マスターズ平塚
- ③『ポッチャスクール活動事業』…… 一般社団法人 F-STYLEスポーツクラブ
- ④『総合公園がざぐるまレストラン内「ともいきスペース」事業』…… 平塚市手をつなぐ育成会
- ⑤『地域資源活用による交流型体験の里づくり事業』…… 城島地区地域活動推進会議

発展コース

- ①『ダンベル体操による健康づくりの推進』…… 湘南ダンベル体操協会
- ②『中勤助が平塚に居を構えて100年記念事業』…… 平塚ゆかりの作家 中勤助を知る会
- ③『海外柔道家と平塚市の皆さんとの交流事業』…… 認定特定非営利活動法人 JUDOs

組織基盤整備コース

- ①『講習会指導人材育成・財務管理強化』…… NPO法人 湘南平塚きさわ里地里山ラボ
- ②『「ひらつかママ」ブランディング』…… ママぎゅっと

アクセス!



補助金報告書はこちらから ● https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00016.html

編集後記

センターの一大イベント「ひらつか市民活動センターまつり」開催に向けて実行委員会が発足しました! 開催の様子はセンターのHPやFacebookを是非ご覧ください。
 「来て! 見て! 知って! 市民活動」のキャッチコピーの通り、市民活動について知り、楽しんでもらえるおまつりにしていきたいと思ひます。(に)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045
 神奈川県平塚市見附町 1-8
 TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601
 Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net
 URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数 (2025年6月15日現在)
 登録団体数 ● 453 団体
 (内訳 市民活動団体…330 団体、一般団体…123 団体)

